

# 安全対策部

(2017/4/11 日現在)



部 長 竹本 晴美

安全対策委員会	委員長	秋元 洋一	北海道
	副委員長	鈴木 恵太	山形県
	副委員長	富樫 泰一	茨城県
	委員	上杉 一哲	神奈川県
	委員	遠藤 秀明	福島県
	委員	影山 広美	北海道
	委員	川内 慎吾	新潟県
	委員	須藤 光春	青森県
	委員	田村 一司	長野県
	委員	細川 哲明	岐阜県
	委員	米田 幸雄	兵庫県

### ■パトロール中央研修会

【会期】	平成 28 年 11 月 18 (金) ～20 日 (日)
【集合】	11 月 18 日 (金) 16 : 00 集合
【会場】	長野県 熊の湯スキー場
【宿舎】	熊の湯ホテル 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町平穏 7148 TEL : 0269-34-2311(代) FAX : 0269-34-3010
【責任者】	竹本晴美
【参加者】	秋元洋一, 鈴木恵太, 富樫泰一, 上杉一哲, 遠藤秀明, 影山広美, 川内慎吾, 須藤光春, 田村一司, 細川哲明, 米田幸雄
【事業の目的】	1. 安全対策部の活動方針・事業内容・規程改正・新教程発行等の周知 2. スキーパトロール技術員研修会・検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

### ○1 日目

		項目	内容
16:00	-	17:00	会議 本部会議 (1)日程役割分担確認 (2)協議事項 (3)その他
17:00		17:30	開会式 中央研修会 (開会式) 
17:30		18:00	全体会議 中央研修会 (全体会議 I)
18:00			夕食
19:00	-		安全対策部会議 (1) 安全対策部の活動方針・事業内容・規程改正・新教程発行等の確認



○2 日目

		項目	内容
07:00		朝食	
09:00	- 11:30	実技研修 I	中央研修会（実技研修 I）雪不足のため各部報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術強化委員会</li> <li>・安全対策委員会</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定委員会</li> <li>・スノーボード委員会</li> </ul>
11:30	- 12:45	昼食	
12:45	- 15:00	実技研修	中央研修会（実技研修 II）雪不足のため各部報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定委員会</li> <li>・安全対策部</li> <li>・スノーボード委員会</li> </ul>
15:00	18:00	会議	安全対策部専門委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定内容について            学科試験，基礎種目，搬送種目，ロープ・救急法</li> <li>・全国パトロール総会について</li> <li>・業務分担について</li> </ul> 
18:00		夕食	
19:00	- 21:00	会議	各種会議 (1)ブロック会議 (2)その他の会議

○3 日目

		項目	内容
07:00		朝食	
09:00	- 10:00	会議	中央研修会（全体会議） <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員会報告</li> </ul>
10:00	- 10:30	閉会式	次第 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開式の言葉</li> <li>・主催者挨拶</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸連絡</li> <li>・ 閉式の言葉</li> </ul>
12:00		解散	

**【所見】**

研修会初日は、安全対策部打ち合わせの後、スキー中央研修会の開会式・全体会議・安全対策部会議Ⅰを行った。翌日は雪不足のため雪上研修ができず（2年連続）、午前中は技術強化委員会報告（渡部三郎）、安全対策部報告（秋元洋一・富樫泰一）、午後から、検定委員会報告（野口勉）、スノーボード委員会報告、スキー学校委員会報告（松ノ木敏雄）を行った。その後、理事同席で安全対策部専門委員会を行い、新スキー教程安全編、全国スキーパトロール総会等について検討した。夕食後は各ブロックの事業計画打ち合わせの後、安全対策部の研修テーマ、検定内容の確認（基礎種目、搬送種目、救急法、ロープ）を行った。

雪不足で雪上研修ができなかった分、専門委員会議の時間を十分に取ることができた。

**■パトロール技術員研修会**

□北海道ブロック

**【会期】** 2016年11月25日（金）～2016年11月27日（日）

**【会場】** 北海道・札幌国際スキー場

**【本部宿舎】** 定山溪万世閣ホテルミリオーネ

〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL 011-598-3500

**【責任者】** 登山 一成

**【主任講師】** 秋元 洋一

**【講師】** 影山 広美

**【参加者】** 北海道ブロックパトロール技術員 男子13名、女子2名 合計15名

**【日程及び概要】**

11月24日	20:00～21:00	役員打合わせ
11月25日	14:15～15:00	開会式
	15:10～15:50	教育本部会議Ⅰ（SAJ報告・SAH報告）
	16:00～17:00	理論研修Ⅰ（パトロール研修テーマ解説）
	20:00～21:00	室内実技研修Ⅰ（ロープワーク実技研修）
11月26日	09:00～14:00	雪上実技研修Ⅰ（スキー技術）
	15:00～17:00	理論研修Ⅱ（スキー研修テーマ解説）
	17:00～17:30	教育本部会議Ⅱ（SAJ報告・SAH報告）
	17:30～19:00	室内実技研修Ⅱ（バックボードの活用について）
11月27日	09:30～14:00	雪上実技研修Ⅱ（スキーパトロール技術）
	14:30～14:50	閉会式

**【所見】** シーズン初めにかかわらず、降雪に恵まれ、さらにスキー場関係者の尽力により、絶好のゲレンデコンディションの中、しっかりとした内容で、予定通りに研修することができた。雪上においては、今シーズンのスキーパトロール研修会テーマとスキー指導者研修テーマの交流と確認を図った。また、室内においては、新たに発刊されたスキー教程安全編の解説、パトロール研修会および養成講習会等における、指導の際に、ポイントとなる部分を確認し、さらに効果的な指導法についての相互交流を図った。また、本研修会を通して、技術の確認と意識の高揚と共有化を図ることができたと評価することができた。



□東北ブロック

【会期】 2016年12月2日(金)～ 2016年12月4日(日)  
【会場】 宮城県・オニコウベスキー場  
【本部宿舎】 リゾートパークホテルオニコウベ  
〒989-6941 宮城県大崎市鳴子温泉鬼首字大清水 26-17  
TEL 0229-86-2011 FAX 0229-86-2029

【責任者】 竹本 晴美  
【主任講師】 鈴木 恵太  
【講師】 須藤 光春, 遠藤 秀明  
【参加者】 東北ブロックパトロール技術員 7名

【日程及び概要】

12月2日 13:00～17:00 理論研修  
  
12月3日 09:00～12:00 実技研修1  
13:00～15:00 実技研修2  
15:00～17:00 実技研修3 (三角巾・ロープ)



12月4日 09:00～12:00 実技研修 4  
13:00～ 閉会式・解散



【所見】

雪不足のため雪上研修はできませんでしたが、それに代わって新教程が発刊された最初の研修会でその理解を深めるため充実した研修ができました。

□北関東、南関東、甲信越、東海北陸、学連ブロック

2016-2017 スキーパトロール技術員研修会報告書（北関東、南関東、甲信越、東海北陸）

【会期】 平成 28 年 12 月 2 日（金）～12 月 4 日（日）

【会場】 群馬県・鹿沢スノーエリア

【宿舎】 ロッジすばる e-mail info@subaru.boj.jp  
〒377-1614 群馬県吾妻郡嬬恋村田代 1017

TEL0279-98-0415 FAX0279-98-0270

【主催】 （公財）全日本スキー連盟（所管：教育本部安全対策部）

【協賛・協力】 群馬県

【事業の目的】 1. 安全対策部の活動方針・事業内容の周知  
2. スキーパトロール検定会・研修会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

【役員】 責任者：五十嵐憲雄（鹿鳴館）

(4) 主任講師：富樫 泰一 講師：田村 一司, 川内 慎吾, 上杉一哲

【参加者】(22) 北関東・南関東・甲信越・東海北陸スキーパトロール技術員

	1 班	2 班	3 班	4 班
北関東(4)	新井 和夫	中澤 卓	森山 直温	杉田 宏恵
南関東(7)	織田 久	保坂 淳司	班目 敦子(1)	三井 晃一
	山川 正一	佐藤 公一	三宅 秀一	
甲信越(4)	辺見 秀利	石田 英之	大月 照治	新村 昌宏

北陸(4)	原野 浩司	南 順正	前田 初志	吉田 守
東海(3)	中島 浩二	内方 陽一	西部 廣明	

【日程】 1日目 12月2日(金)

		項目	内容
14:00		役員集合	事業・研修内容確認
16:00	-	仮開会式 食堂 田村	次第 ・責任者挨拶 ・主任挨拶 ・役員 ・技術員紹介 ・日程説明 ・事務連絡その他(精算, 資料配付)
	18:00	理論研修 1 2h, 食堂 富樫	 ・ロープ操法 (富樫)
18:00		夕食	
19:00	- 21:00	理論研修 2 1h, 実技研修 1 1h スキーセン ター 上杉	 ・バックボード固定 (上杉) ・GL2015 対応 CPR+AED (上杉) 

2日目 12月3日(土)

		項目	内容
07:00		朝の集い	佐藤 公一・三宅 秀一
07:30		朝食	
09:30	- 10:00	合同開会 式 (ハイ ランドロ ッジ)	
10:00	11:30	実技研修 2 1.5 h, 田 村	・基礎種目 (田村・川内)

				
11:30	-	13:00	実技研修 3 1.5 h , 川内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送種目 (田村・川内)</li> </ul> 
13:00	-		昼食	各自スキー場で
14:00	-	15:30	実技研修 4 1.5h , 雪上富樫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフト旅客救助訓練 (杉田)</li> </ul>  
16:00				移動
16:30	-	17:30	理論研修 3 1h , 食堂, 富樫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包帯法 (前田)</li> <li>・安全対策部事業</li> <li>・役員配置</li> </ul>



				
18:00	21:00	夕食 情報交換 会		

3日目 12月4日(日)

		項目	内容
07:00		朝の集い	原野 浩司・南 順正
07:30		朝食	
09:00	11:30	実技研修 5 2.5h, 休暇村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープアクセス (富樫)</li> </ul> レベル 1 (新人技術員) 支点設営, 懸垂下降, 引き下ろし  レベル 2 滑車 1 とオートブロックのみの引き上げ 倍力システムを使った引き上げ



			
11:30	-	11:45	閉会式 同上
		次第 ・責任者，主任，講師あいさつ	

【所見】

毎年利用していた宿舎が団体貸し切りのため利用できなくなり，急遽会場を変更したため，研修会場の確保に奔走したが，なんとか無事研修を終えることができた。

研修内容は，ロープ・三角巾，AEDを用いたCPR，バックボード固定，スキー基礎技術，搬送技術，索道からの乗客救助訓練，ロープアクセス・ロープレスキューとした。

新人技術員が6人参加したため，オリエンテーションに十分な時間を掛け，ロープアクセスについては新人用に別メニューを用意した。

スキー場のご協力により，索道からの乗客救助訓練を実施した。乗客救助の基本に立ち返り，救助技術について再確認ができ良い研修となった。

ロープアクセス・ロープレスキュー訓練は今年で3回目と成り，熟練技術員は倍力システムを使った引き上げ訓練を，新人技術員はロープアクセスの基本手技の研修を行った。

雪が少なく十分な雪上研修を行うことができなかったが，雪上以外での充実した研修を行うことができた。

ご協力いただいた，鹿沢スキー場とロッジすばるおよび休暇村婦恋鹿沢に感謝し報告といたします。

□西日本ブロック

【会期】 2016年12月10日（土）～12月11日（日）

【会場】 兵庫県・奥神鍋スキー場

【本部宿舎】 ニューみちや 〒669-5377 兵庫県豊岡市日高町山田 TEL 0796-45-0605

【責任者】 矢船 保夫

【講師】 米田 幸雄，細川 哲明

【総務担当】 香谷 義久

【参加者】 片岡 弘明，汐田 真澄，平川 朝水，青木 政明

【日程】

12月9日	18:00	役員集合
	18:00～19:00	役員会議
12月10日	09:30～	受付
	10:00～	開会式
	10:30～12:00	実技研修1
	13:00～15:30	実技研修2
	16:00～18:00	理論研修1
	19:00～	夕食

12月11日 08:30～ 実技研修3  
 09:30～ デモンストレーション  
 11:30～ 昼食  
 12:30～ 理論研修  
 14:00～ 閉会式



**【所見】**

人工造雪機のコースでの開催になりましたが、バーン整備を充分にいただき、雪上実技では研修テーマを中心に行いました。室内では、新教程の理解とロープ操法の練習を行いました。スキー場関係者の皆様のご協力に感謝します。

**■公認スキーパトロール検定会**

○第1会場

【会期】 2017年2月17日(金)～19日(日)

【会場】 北海道・ルスツリゾート

【本部宿舎】 ルスツリゾートホテル

〒048-1711 北海道虻田郡留寿都村字泉川 13 番地

TEL 0136-46-3331 FAX 0136-46-3229

【責任者】 登山 一成

【主任検定員】 秋元 洋一





【現地総務】 山森 智文

【検定員】 影山 広美, 後藤 博昭, 池田 卯一郎, 松本 年弘, 高橋 涉  
 山村 誠, 鷺川 智江

【参加状況】 申込者名 25, 受検者 25名, 合格者 22名, 不合格者 3名, 合格率 88.0%

**【日程】**

第1日目	2月17日(金)
10:00	役員集合・検定会役員会議 (本部宿舎)
15:00～16:00	受検者受付
16:30	開会式 
17:00～18:30	理論試験
18:30	夕食

第2日目	2月18日(土)
07:00~07:30	朝のつどい 
07:30~08:00	朝食
09:30~11:30	実技テスト(搬送種目) 
12:00~13:00	昼食
13:00~15:00	実技テスト(基礎種目) 
16:00~17:30	ロープ操法・救急法オリエンテーション
18:00~19:00	夕食
第3日目	2月19日(日)
07:00~07:30	朝のつどい
07:30~08:00	朝食
09:00~11:00	実技テスト(ロープ操法・救急法テスト) 
12:00~13:00	閉会式・合格発表・諸手続き

### 【所見】

各加盟団体による養成講習会等の成果により、受検者は自信をもって、検定会に臨むことができていたようだ。アキヤポート操法において、やや不安定な操作の者が見られ、より確かな技術の習得が必要である。学科試験においては、「日本スキー教程安全編」が改訂になった初年度であったが、理解不足のため不合格となる受検者がおり残念な結果であった。閉会式後、個別に教養をおこない、来年度の合格に向け更に努力することの意思を確認した。

合格した受検者の検定に向けての意欲、そして努力には並々ならぬものが見られ、スキーパトロールとして、今後さらに自己研鑽と経験を積むことによって、より確かな知識と技術を身に付け、安全で楽しいスノースポーツの先達者として活躍してくれることを期待している。

○第2会場

- 【会期】 2017年2月17日(金)～19日(日)  
 【会場】 新潟県・胎内スキー場  
 【本部宿舎】 ロイヤル胎内パークホテル  
 〒959-2822 新潟県胎内市夏井 1191-3  
 TEL 0254-48-2211 FAX 0254-48-2000  
 【責任者】 竹本 晴美  
 【主任検定員】 富樫 泰一  
 【現地総務】 川内 慎吾  
 【検定員】 鈴木 恵太, 新井 和夫, 太田 和明, 三神 良太  
 石田 英之, 大月 照治, 中澤 卓  
 【参加状況】 申込者49名, 受検者44名, 合格者39名, 不合格者5名, 合格率79.6%

【日程】

<b>第1日目</b>	<b>2月17日(金)</b>
10:00	役員集合・検定会役員会議 (本部宿舎)
15:00～16:00	受検者受付
16:30	開会式
17:00～18:30	理論試験
18:30	夕食
<b>第2日目</b>	<b>2月18日(土)</b>
07:00～07:30	朝のつどい
07:30～08:00	朝食
09:30～11:30	実技テスト (搬送種目) 
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	実技テスト (基礎種目) 
16:00～17:30	ロープ操法・救急法オリエンテーション
18:00～19:00	夕食
<b>第3日目</b>	<b>2月19日(日)</b>
07:00～07:30	朝のつどい
07:30～08:00	朝食
09:00～11:00	実技テスト (ロープ操法・救急法テスト)

		
12:00～13:00	閉会式・合格発表・諸手続き	

【所見】

本部宿舎のロイヤル胎内パークホテルをはじめ、胎内スキー場とそのパトロール隊の協力のもと、円滑に検定が実施されたことに感謝する。受験生は態度も良く、一般の方とのトラブルやケガもなく無事に検定会が終了できました。



■公認スキーパトロール研修会

東日本会場

- 【 会 期 】 2017年3月25日(土)～3月26日(日)
- 【 会 場 】 福島県・ヴィライナワシロ・猪苗代スキー場
- 【 本 部 】 ヴィライナワシロ  
〒969-3102 福島県耶麻郡猪苗代町葉山 7105 TEL 0242-62-4111
- 【 主 催 】 公益財団法人全日本スキー連盟
- 【 主 管 】 公益財団法人全日本スキー連盟安全対策部
- 【 責 任 者 】 五十嵐 憲雄
- 【 研修会役員】 主任講師：鈴木 恵太  
講 師：上杉 一哲, 高畑 伸也, 加茂谷 正人, 森山 直温
- 【 総 務 】 遠藤 秀明 TEL 080-6023-6631 MAIL kukky5160@yahoo.co.jp
- 【 参 加 者 】 69名(男57, 女12)

○3月24日(金)

17:00～18:30	役員集合・役員会 (本部宿舎) 
-------------	---

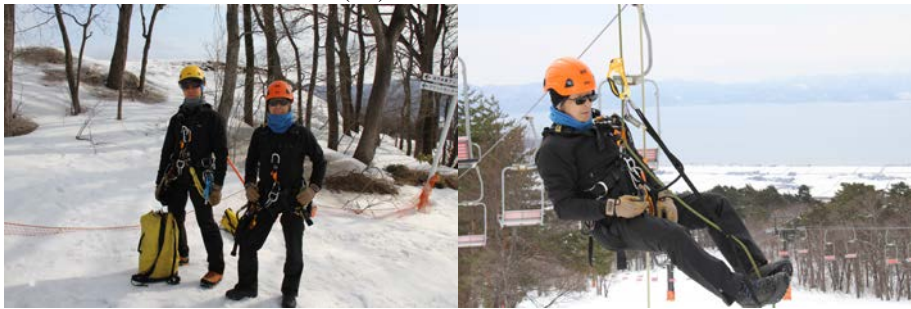


○3月25日(土)

08:30～09:30	受付 (ロビー)
-------------	----------

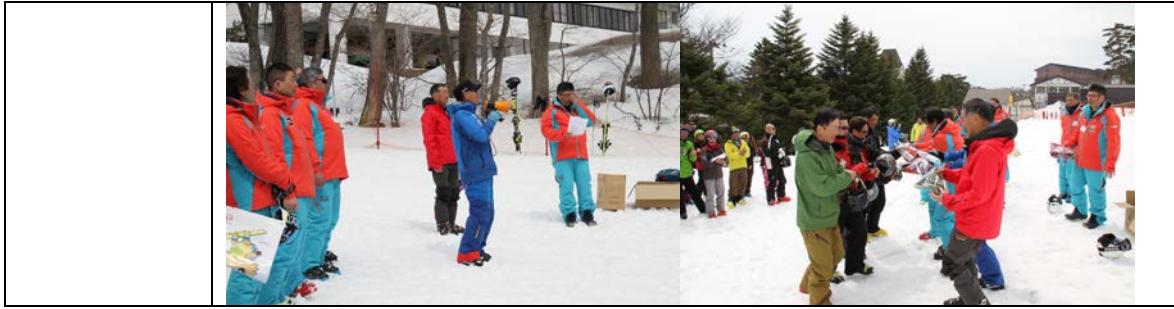
10:00～10:30	<p>開会式 (3F 1961)</p> 
10:30～12:00	実技研修 1 (雪上)
12:00～13:00	昼食 (ISK 他)
13:00～16:00	<p>実技研修 2 (1F 磐梯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープアクセス (株)アルテリア : 小池純氏, 浦野誠動氏)</li> <li>・最新救急資機材 (株)ワコー商事 : 長田和夫氏, 武田常世氏)</li> </ul>  
16:00～19:00	<p>講演会・討論会・理論研修 1 (1F 磐梯)</p> <p>講演 1 「スキー場人身事故に係る実況見分の方法を交通事故から学ぶ」      講師：(公財)交通事故総合分析センター東京事務所交通事故調査員      大房雄二 (おおふさゆうじ) 氏</p> <p>講演 2 「高エネルギー外傷における判断と処置」      講師：会津若松消防署 城南分署 第一消防係長      川田哲也 (かわだてつや) 氏</p>   <p>討論会 (里桜他)      テーマ：パトロール活動の現況と課題・公認パトロールの必要性について</p>  
19:00～21:00	情報交換会 (1F 磐梯)



○3月26日(日)

07:00～07:30	朝のつどい
07:30～09:00	朝食 (1F 磐梯)
09:00～10:30	<p>雪上デモンストレーション (雪上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リフトからの旅客救助 ((株)アルテリア) (60分)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新救助資機材の活用 (福島県スキー連盟安全対策部) (30分)</li> </ul> 
10:30～12:00	<p>実技研修 3 : 搬送デュアルレース (雪上)</p> 
12:00～13:00	昼食 (ISK 他)
13:00～15:00	実技研修 4 (雪上)
15:00～	閉会式 (ゲレンデ)





### 【所見】

本研修会は、全国スキーパトロール総会との併催で、講演会・討論会・理論研修1、情報交換会および雪上デモンストレーションが共通プログラムとして実施された。講演1「スキー場人身事故に係る実況見分の方法を交通事故から学ぶ」では、スキー事故の現場保存の重要性について、講演2「高エネルギー外傷における判断と処置」では、適切で迅速な応急処置について理解を深めることができた。討論会では、全国の安全対策委員長との意見交換により有意義な情報交換ができた。また、(株)アルテリアの講義および実演では、ロープや登高器具を用いたより高度な救助理論および実技について理解を深めることができた。さらに、(株)ワコー商事の講義及び実演により、最新救急資機材の活用について学習することができた。実技研修3の搬送デュアルレースでは、日頃のアキヤ搬送技術訓練の成果を確認することができた。最後に、福島県スキー連盟及び安全対策部、猪苗代スキー場、ヴィライナワシロに感謝申し上げ所見といたします。

### 西日本会場

- 【 会 期 】 2017年3月4日(土)～2017年3月5日(日)
- 【 会 場 】 兵庫県・ハチ高原スキー場
- 【 本 部 】 ロッジみやま荘  
〒667-1100 兵庫県養父市大久保 1595  
TEL 079-667-7131 FAX 079-667-7351
- 【 主 催 】 公益財団法人全日本スキー連盟
- 【 主 管 】 公益財団法人全日本スキー連盟安全対策部
- 【 責 任 者 】 矢船 保夫
- 【研修会役員】 主任講師：米田 幸雄  
総 務：汐田 真澄  
講 師：細川 哲明，片岡 弘明，平川 朝水，青木 政明

### 【日程】

前日	3月3日(金)
17:00～18:30	役員集合
19:00～21:00	役員ミーティング
第1日目	3月4日(土)
07:30～08:30	受付
09:00～	開会式



10:00～12:00 実技研修 1 (スキー技術)



12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 実技研修 2 (アキヤボート搬送)

15:00～17:00 実技研修 3 (ビーコン・プローブ、エアバッグを使用して埋没者捜索訓練)

18:00～19:00 夕食

19:00～21:00 実技研修 4 (救急法、ロープ、バックボード取扱訓練)



第 2 日目 3月 5 日(日)

07:00～07:30 朝のつどい

07:30～08:00 朝食

08:00～12:00 理論研修 (安全編 DVD 活用など)

12:00～13:00 昼食

13:00～ 閉会式・解散

#### 【所見】

役員ミーティングに於いて会期中のプログラム、日程と職務分担の確認を行った。室内研修では救急法(三角巾)、ロープワーク、バックボード取扱訓練を行ない、雪上研修では改訂された検定種目の内容を再確認した。またビーコン・プローブ、エアバッグの使用方法和埋没者捜索訓練。室内研修、雪上研修ともにスキー場関係者のご理解とご協力によって有意義な研修ができたことに感謝して報告とします。



加盟団体主管スキーパトロール研修会

NO	研修会名称	主管加盟団体	期日	実施会場	理論会場	参加人数
1	スキーパトロール研修会（教育本部会議【冬研】）	北海道	2016/11/25～11/27	札幌国際スキー場	定山溪万世閣ホテルミリオネ	15
2	スキーパトロール研修会（SAHスキーパトロール技術員強化研修会）【美唄】	北海道	2017/01/08	美唄国設スキー場		14
3	スキーパトロール研修会【全道：ルスツ】	北海道	2017/02/04～02/05	ルスツリゾートスキー場	ルスツリゾートホテル	17
4	スキーパトロール研修会【全道：美唄】	北海道	2017/03/04～03/05	美唄国設スキー場	ビパの湯ゆーりん館	43
5	スキーパトロール研修会（理論）	青森県	2016/11/23	—	青森県総合社会教育センター	61
6	スキーパトロール研修会（実技）	青森県	2016/12/24～12/25	青森スプリングスキーリゾート	—	同上
7	スキーパトロール研修会（実技）	青森県	2017/04/08～04/09	八甲田山スキー場	—	0
8	スキーパトロール研修会 安比高原会場（理論・実技）	岩手県	2016/12/17～12/18	岩手県 安比高原スキー場	岩手県安比高原スキー場	12
9	スキーパトロール研修会（理論）	宮城県	2016/11/27～01/00	—	宮城県オーエンス泉岳自然ふれあい館	7
10	スキーパトロール研修会（実技）	宮城県	2016/12/17～12/18	宮城県オニコウベスキー場	—	同上
11	スキーパトロール研修会 秋田会場（理論・実技）	秋田県	2016/12/24～12/25	秋田県たざわ湖スキー場	秋田県たざわ湖スキー場	31
12	スキーパトロール研修会 蔵王会場（理論・実技）	山形県	2016/12/09～12/11	山形県蔵王温泉スキー場	山形県蔵王温泉スキー場	25
13	スキーパトロール研修会 東日本会場（理論・実技）	福島県	2017/03/25～03/26	福島県猪苗代スキー場	福島県ヴィライナワシロ	併催
14	スキーパトロール研修会 丸沼会場（理論・実技）	茨城県	2016/12/17～12/18	群馬県丸沼高原スキー場	群馬県丸沼高原スキー場	9
15	スキーパトロール研修会 丸沼会場（理論・実技）	群馬県	2017/01/24～01/25	群馬県丸沼高原スキー場	群馬県丸沼高原スキー場	18
16	スキーパトロール研修会 菅平（理論・実技）	東京都	2017/02/18～02/19	長野県菅平高原スノーパーク	長野県菅平高原スノーパーク	19
17	スキーパトロール研修会 白馬五竜会場会場（理論・実技）	神奈川県	2017/02/11～02/12	長野県白馬五竜スキー場	長野県白馬五竜スキー場	7
18	スキーパトロール研修会 今庄365会場（理論・実技）	福井県	2017/03/02～03/03	福井県今庄365スキー場	福井県今庄365スキー場	21
19	スキーパトロール研修会 箱館山会場（理論・実技）	滋賀県	2017/02/04～02/05	滋賀県箱館山スキー場	滋賀県旅館丸仁館	14

研修会参加者総計 439名

（SAJ 主管：東日本会場 69名，西日本会場 57名，加盟団体主管：313名，2017/4/11日現在）

## ■全国スキーパトロール総会

- 【会期】 2017年3月25日(土)～3月26日(日)  
【会場】 福島県・ヴィライナワシロ・猪苗代スキー場  
【本部】 ヴィライナワシロ  
〒969-3102 福島県耶麻郡猪苗代町葉山 7105 TEL 0242-62-4111  
【主催】 公益財団法人全日本スキー連盟  
【主管】 公益財団法人全日本スキー連盟安全対策部  
【責任者】 五十嵐 憲雄  
【役員】 秋元 洋一, 富樫 泰一, 影山 広美, 川内 慎吾, 須藤 光春,  
田村 一司, 細川 哲明, 米田 幸雄, 馬場 相任, 熊久保 勅明  
【総務】 遠藤 秀明  
【オブザーバー】 日本スキーパトロール協議会 一戸繁輝会長, 保坂淳司事務局長  
【参加者】 36名(男34, 女2)  
【出席者】 各加盟団体安全対策委員長(または代理)36名

後藤 博昭	北海道	和田 栄一	秋田県	横島 和美	埼玉県
小笠原 崇文	青森県	柴田 陽幸	山形県	笹生 修一	神奈川県
竹原 伸郎	青森県	高橋 弘一	山形県	原野 浩司	富山県
高畑 伸也	岩手県	蜂谷 靖	山形県	吉本 幸司	石川県
鈴木 寛	宮城県	安田 耕寿	福島県	扇浦 行弘	福井県
高橋 元一	宮城県	石川 由紀子	茨城県	舟久保 元孝	山梨県
三神 良太	宮城県	新井 和夫	栃木県	内方 陽一	岐阜県
吉田 正明	宮城県	茂木 真理子	埼玉県	小椋 健司	愛知県
小松 信一	秋田県	伊藤 清美	埼玉県	竹内 和雄	三重県
佐藤 昭造	秋田県	栗田 啓一	埼玉県	井上 修三	滋賀県
畑山 卓二	秋田県	佐藤 俊寿	埼玉県	西垣 勲一	兵庫県
小幡 清	秋田県	山本 博之	埼玉県	宮本 亮	鳥取県

※下記会議以外は、スキーパトロール研修会(東日本会場)参照のこと。

### ○全国安全対策委員長会議

- ・受付(12:00～13:00, ロビー)
- ・開会式・全国安全対策委員長会議(13:00～16:00, 3F 1961)
- ・次第

司会：秋元洋一

#### 1. 出席者紹介

(公財)全日本スキー連盟教育本部

副本部長：五十嵐憲雄

安全対策委員会委員長：秋元洋一

安全対策委員会副委員長：富樫泰一

安全対策委員会副委員長：鈴木恵太

日本スキーパトロール協議会会長：一戸繁輝, 同事務局長：保坂淳司

加盟団体安全対策委員長または代理人

#### 2. 開会宣言(秋元洋一)

#### 3. 教育副本部長挨拶(五十嵐憲雄)



4. 報告事項

- (1) 第20回FIPS総会について(秋元洋一)



- (2) SAJ 2017年度安全対策部事業報告(富樫泰一)  
(3) スキーパトロール研修テーマについて(影山広美)  
(4) 加盟団体報告(加盟団体持参資料)  
(5) 日本スキーパトロール協議会報告  
(6) その他

5. 協議事項

- (1) 公認スキーパトロール検定基準と実施要領(規程番号531)改正について  
(2) その他

6. 閉会宣言(秋元洋一)